

1. 【開催案内】日本学術会議主催学術フォーラム
「Covid-19 とオープンサイエンス」
2. [JST-RISTEX] 令和2年度新規研究開発提案募集のお知らせ
「科学技術の倫理的・法制度的・社会的課題（ELSI）への包括的実践研究開発プログラム」
(～6/23 正午迄)

■-----
【開催案内】日本学術会議主催学術フォーラム
「Covid-19 とオープンサイエンス」
-----■

日時：2020年6月3日（水）10:30-16:00（講演時間は変更の可能性あり）

場所：インターネット公開

主催：日本学術会議

企画：オープンサイエンスの深化と推進に関する検討委員会

開催趣旨：

学術の成果をオープン化して広く共有することにより、研究の進展を加速し、学術的知見の導出の拠り所となる研究資料・データと研究成果の再現性を高めることを目的とした「オープンサイエンス」の方向性が世界的に注目されている。世界的なウイルス感染の拡大の中、オープンサイエンスの深化と推進の方向性を議論し、新しい科学の推進の在り方を問う。

次第：<http://www.scj.go.jp/ja/event/2020/287-s-0603.html>

要・事前申し込み：以下のURLからお申し込みください。

<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0114.html>

問合せ先：

日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34

電話：03-3403-6295

■-----
[JST-RISTEX] 令和2年度新規研究開発提案募集のお知らせ
「科学技術の倫理的・法制度的・社会的課題（ELSI）への包括的実践研究開発プログラム」
(～6/23 正午迄)
-----■

JST 社会技術研究開発センター（RISTEX/リステックス）は、文部科学省の政策の下、「社会のなかの科学・社会のための科学」の実践を基本理念として 21 世紀の人類・社会が直面する重要な社会

課題の解決を目指し、社会技術研究開発を支援する公募型のファンディング事業を推進しています。弊センターでは、令和2年度より、ゲノム編集やAI・ロボティクス、細胞農業、人間拡張工学、気候工学など、新興技術のELSI (Ethical, Legal and Social Implications/Issues:倫理的・法制度的・社会的課題) への取組を主軸とする「科学技術の倫理的・法制度的・社会的課題 (ELSI) への包括的実践研究開発プログラム」を設定し、研究提案の募集を開始いたしました。

科学技術が人・社会と調和しながら持続的に新たな価値を創出する社会の実現を目指し、倫理的・法制度的・社会的課題を発見・予見しながら、責任ある研究・イノベーションを進めるための実践的協業モデルの開発に取り組む提案を募集します。

現在および将来の日本社会が抱える課題、あるいは具体的な新興技術を出発点とし、国際的な展開・発信を念頭に取り組むことを重視します。なお、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症に関連する諸問題にELSIの観点から貢献する取り組みも対象としています。

本プログラムに関心をお持ちの皆様からのご提案を心よりお待ちしております。

【募集期間】

令和2年5月1日(金) ～ 令和2年6月23日(火) 正午

【研究開発期間・規模】

(1) 研究開発プロジェクト

研究開発期間：1～3年

研究開発費：1,500万円/年(直接経費)程度上限

(2) プロジェクト企画調査

企画調査期間：6ヵ月程度(単年度)

企画調査費：300～500万円/半年(直接経費)程度

【プログラム紹介】

<https://www.jst.go.jp/ristex/examin/active/elsi-pg/elsi-pg.html>

【公募要領】

https://www.jst.go.jp/ristex/proposal/current/proposal_2020.html

【本件のお問い合わせ先】

国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST) 社会技術研究開発センター (RISTEX) 募集担当

E-mail: boshu*jst.go.jp

(*を@に変更して送信して下さい)

〒102-8666 東京都千代田区四番町5-3 サイエンスプラザ

★-----☆

日本学術会議では、Twitterを用いて情報を発信しております。

アカウントは、@scj_info です。

日本学術会議広報のTwitterのページはこちらから

http://twitter.com/scj_info

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://jssf86.org/works1.html>

日本学術会議ニューズメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

発行：日本学術会議事務局 <http://www.sci.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34